

平成22年10月5日

お客様各位

ナリミツ農園
販売係代表 成田 康平

22年産ナリミツ農園のお米の品質、味について

10月に突入しましたが、暑かったり寒かったり大雨が降ったり異常気象は続いています
が、皆様いかがお過ごしでしょうか。

ナリミツ農園も稲刈りが終盤。ラストスパートを掛けています

さて、今年は田植え時期からの低温、夏場の高温という歴史的異常気象に見まわれ、お
米もその影響をもろに受けました。

部分的にお米が黒いもの、茶色いもの、白いもの、色々ございますが、食べてみますと
味に全く支障はございません。むしろ昨年より食味は上がっております。

異常気象に負けずに頑張って育ったお米です。そんなストーリーを噛み締めながら、22
年産のお米を食べていただけると嬉しく思います。

22年産のナリミツ農園のお勧めは、ズバリ『 まっしぐら 』です。

これまで『 つがるロマン 』の脇役的存在でしたが、22年産ナリミツ農園のお米につ
いては「見た目」、「食味」両方において、つがるロマンを上回っています。

値段もとってもリーズナブル。値段が安いと美味しくないと思われがちですが、単につ
がるロマンより収量が獲れるので、価格を安く設定しているだけのことです。自信を持っ
てお勧めします。

『 ひとめぼれ 』も昨年より食味が上がっています。元は岩手、宮城の奨励品種。今
年の夏場の暑さが、ひとめぼれにうまくマッチしたのでしょうか。今年は自信作、お米もき
れいです。まさにお米の姿にひとめぼれ。

22年ナリミツ農園の挑戦として、小面積ではありますが『 コシヒカリ 』を作付け
しました。収穫はもう少しですがこちらもお楽しみに。こちらは量が獲れませんので高級・
限定米として販売いたします。年に一度のぜいたく品として、ご注文ください。

以上、取り急ぎ、22年産・ナリミツ農園のお米の品質・味についてのご報告でした。